

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームさちの家
 作成日 令和 元年 9月 18日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|--|---|------------|
| 1 | 13 | 高齢者の特性や認知症の理解において習得の差があるため、認知症の進行や周辺症状に対する対応に不安がある。 | 認知症を疾病として正しく理解し、入居者様の立場に立って対応を模索しながら笑顔につながる安全なケアを提供していく。 | ①内部・外部の研修会や勉強会を通して認知症(周辺症状)を正しく理解し職員全体のスキルを上げ、入居者様へ安全で安心につながる対応を行えるようにする。 ②提供(実践)したケアを振り返り、課題を見出し、職員間で情報共有を行い入居者様の望むケアにつなげる。 | 6ヶ月～1年 |
| 2 | 33 | 日々の生活の中で少しずつ入居者様に死生観を聞き、記録に残すことは出来ているがご家族様の死生観(どのように最期を迎えたいのか等)を全ご家族様に聞くことができていない。 | 入居者様、ご家族様が共に穏やかな最期を迎えられるよう意思疎通を図る。 | ①入居の契約時に看取りについての説明を行い、事前確認書類に記入して頂く。また、既に入居されている方についてもご家族様へ説明し、終末期の看取りについて確認書に記入して頂く。 ②家族懇談会等の際にご家族様へ改めてさちの家での看取りケアについて説明する機会を設ける。 ③看取りについての確認書は入居者様やご家族様の状態が変更になった際やそれ以外は1年に1回程度、ご家族様へ現状の意思確認を行い、更新していく。 | 6ヶ月～1年 |
| 3 | 49 | 入居者様一人一人の死生観や、ご家族様の想いを汲み取ることを目的として、「外出同行サービス」をスタートさせた。この企画をなるべく早く軌道に乗せ、更なるサービス向上に活かしたい。 | 入居者様が元気なうちに行きたいと望む所にご家族様と共にお連れし、悔いのない最期を迎えられるようサポートする。 | 「外出同行サービス」をスタートさせるに当たり、入居者様一人一人に行きたい所を伺った。そして、ご家族様にもアンケートを送付し、どこに行きたいかや、どのような要望があるのかお聞きした。それを元に、いつ、誰と、どこに行くか等を職員間で話し合い、出来るだけ多くの入居者様の想いを叶えていく。 | 6ヶ月～1年 |

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。